

2024年 1 月 18 日 第2548回例会  
1 月 第 2 例会

RI会長テーマ: Create Hope in the World  
「世界に希望を生み出そう」

本年度会長テーマ Build FUTURE  
「50年の過去に感謝し、50年先の未来を築こう」

## 「職業奉仕月間」

### ◆ 会長時間 ◆

諏訪(浩)会長

【ロータリーの「姉妹クラブ」「友好クラブ」】  
ロータリーは自己教育運動です。



先週は、姉妹クラブである台南ロータリークラブの創立70周年記念式典に出席してきました。「姉妹クラブ」は、長期的な友愛関係の証として公式な契約を取り交わして奉仕

プロジェクトの相互支援を行うものです。

この友愛関係を維持していく上で大きな問題は世代交代です。今、台湾では世代交代によって日本語がしゃべれない会員が増えつつあり、当時と比べて意思疎通が難しくなっています。さらにご高齢のため引退される会員もあり、会員同士の個人的なつながりが希薄になりつつあります。クラブ同士の付き合いは会員同士の個人的付き合いの集大成です。14名の会員とご家族7名が参加した今回の台南訪問では多くの新しいご縁ができたと思いますが、このような機会を利用して意識的に個人同士が繋がらなければ、姉妹クラブという関係は廃れてしまいます。姉妹クラブ関係は決してクラブ同士の儀礼的なつながりではなく、個人同士の友愛関係が基本であることをご理解いただき、今後も皆様のご協力をお願いいたします。

さて、当クラブはポール・ハリスが作った世界最初のロータリークラブであるシカゴロータリークラブと「友好クラブ」関係にあります。「友好クラブ」が「姉妹クラブ」とどう違うのかと言

ますと、「友好クラブ」は、書面または口頭で交わした「婚前契約」のような約束で、「姉妹クラブ」になるための事前ステップと見なされます。従って、通常は姉妹クラブに発展するまでの数年間の関係ですが、残念ながら、20年を経過しても友好関係は姉妹関係に発展していません。その理由のひとつは、やはり世代交代です。

来月には、シカゴロータリークラブの「姉妹クラブ」である東京西ロータリークラブを個人的に訪問する予定です。東京西ロータリークラブは我がクラブが「広島西ロータリークラブの歌」をいただいたクラブです。すでにクラブ同士の関係がありながら人的交流が殆どないのは残念なことです。そこで、有志会員数名で訪問して知り合いを増やし、5月のシンガポール国際大会では、シカゴクラブを含め3クラブ合同で懇親会を開催したいと考えています。世代交代のデメリットを乗り越えるには、このような地道な個人活動しかないのです。まだどうなるかはわかりませんが、シカゴロータリークラブとの友好関係が姉妹関係に発展すれば素晴らしいことだと思います。

尚、台南ロータリークラブ、シカゴロータリークラブとの関係の歴史は、クラブウェブサイトでは会員ログインすると閲覧できる「クラブのあゆみ」に詳しく記載されていますので、ご存じない皆さんは是非一度ご覧ください。

最後に、5月のシンガポール国際大会について一言お願いです。観光がはずせないのは理解できますが、是非、午前中の本会議だけでなく午後の

分科会にもご参加ください。ロータリーで今何が重要かがよくわかります。日本語通訳もあります。僕は4日間の本会議全部と幾つかの分科会に出席しますので、ご興味ある方はお声がけください。ご案内いたします。

### ● 会務報告

吉田(大)幹事

※例会終了後、3階「カトレア」において第4回クラブ協議会を開催いたしますので、理事会メンバー及び各委員長は出席願います。



### ● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

#### 出席報告 福田君

本日(1月18日・木曜日)

会員数 90名 出席者 79名

欠席者 11名 ご来客 0名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 79名

4週前の例会2023年12月7日・木曜日

出席率 100%



※ 国際交流・姉妹クラブ友好委員会 八條副委員長

#### 台南RC創立70周年記念訪問報告

1月9日(火)および10日(水)から4日間または3日間のコースで、諏訪(浩)会長を団長とする会員およびご家族の総勢21名の訪問団が、姉妹クラブである台南RCの創立70周年を祝うために訪台しました。

10日夜は、6つの姉妹クラブのために前夜祭を開催していただきました。このうち金沢 香林坊RCの訪問団41名は、1月1日に起こった地震のため訪問が実現せず非常に残念でしたが、その他の5クラブは素晴らしい歓迎を受けました。

翌11日の記念式典は、RID3470の林ガバナーはじめ、歴代パストガバナー、そしてゲイリー・ホワン2014-2015年度RI会長も出席された500名を超える大式典でした。当クラブを代表して、

諏訪(浩)会長がRichard会長におみやげ(高木のお菓子)とお祝いを手渡し、壇上で祝辞を述べました。これらのプログラムに加え、市内観光やゴルフなど、思い出に残るプログラムもご用意いただき、最初から最後まで本当に心のこもったおもてなしを受けました。

今回の訪問を通して、姉妹クラブ同士のお付き合いは、クラブ同士の儀礼的、形式的なものではなく、やはり会員個人同士の親密な人間関係がなければ成り立たないこと、その大切さを痛感しました。これからもまずは個人レベルで台南RC会員との友愛に満ちた関係を築き発展していきたいと感じました。

<参加者>

諏訪(浩)会長、諏訪PDG、前橋会長エレクト、吉田(大)幹事ご夫妻、柳原君ご夫妻、中岡君、香川(浩)君、西原君、木本君、高島君ご夫妻、新沢君ご夫妻ご家族、大谷君、田島君、八條夫婦



✦ 職業奉仕委員会 吉田(浩)委員長

1月25日の卓話時間延長(15分)のご案内



● 同好会報告

✦ 紫友会 川村世話人

1月13日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで、第7回紫友会例会を26名の参加で開催いたしました。

優勝は、OUT45 IN41 グロス86 HC14.4 ネット71.6で見事田中君が勝ち取られました。シニアの部優勝も同時に田中君でした。準優勝は長谷川(剛)君、3位は梶本君、ブービー賞は西原君、ベスグロ賞は75の田原君でした。

なお今回より80歳以上のメンバーを対象としたグランドシニアの部を創設しました。紫友会には80歳以上のメンバーがOBを含め8名おられます。栄えある第1回優勝者は、広島西RCOBである梶川さん。スコアはOUT48 IN50 グロス98 HC23.4 ネット74.6でした。

次回例会は2月10日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで開催いたします。

最後にひとつだけ世話人よりお願いがあります。今年のゴルフ遠征は岡山県のゴルフ場の予定をしております。日程は5月18日・19日の土日です。近々皆さんにご連絡を差し上げますので、ホテルの宿泊予約の関係もあり、事前に人数を把握させていただくため、早めの回答をよろしくお願い申し上げます。



● 卓話予告

日時	テ ー マ
2/1(木)	会 長 卓 話

● 会員記念日

🎉 連続出席100% (6名)

坂田君(40年) 加藤君(17年)  
柴田君(13年) 片山君(12年)  
松岡(幹)君(12年) 中岡君(11年)

連続出席記念品贈呈



40年 坂田 恵希 君

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。

(8名)

片山君 中村(光)君 上田君 中岡君  
西原君 田島君 上野(彰)君 前橋君

● スマイルボックス SAA 長谷川(剛)副委員長

👤 加藤君(自主申告・ダブル)

このたび台南へ行かれた皆様には、台南RCメンバーへのお土産として、弊社のお菓子80箱を手分けして手荷物で持参いただきありがとうございます。

10年前に初めて国際郵便で送ったところ、販売用と勘違いされて税金を取られたことから、5年前の前回から持参になりました。私も5年前参加メンバーとして手分けをして持参しましたが、このたびは参加が叶いませんでした。持参していただいたメンバーに感謝を込めて出宝いたします。

👤 田島君(自主申告・スマンと合わせて金一封)

1月9日と10日に行われました、台南RC70周年の前夜祭、式典、歓迎会に、広島西RCからメンバーのご家族7名を含め総勢21名で参加してまいりました。式典は総勢500名を超える大式典でした。

歴代パストガバナー、元RI会長など、各方面からお祝いのスピーチが延々と続く中、日本の5つの姉妹RC会長のお祝いのスピーチでは、中国語と日本語、また英語と日本語で同じ内容で無駄に長いスピーチをされる会長がおられ



る中、諏訪(浩)会長は簡素にとても素晴らしいスピーチをされました。台南RCからは心のこもったおもてなしを受け、会員同士の友好関係をより深めた訪問になりました。

クラブ会報に八條副委員長の報告が記載されますのでご一読の程、お願いいたします。総選挙前で若干の不安はありましたが、無事、訪問を終えることができました。ありがとうございます。

#### 穴戸君（自主申告）

社会人1年目の長女が会社でゴルフをしなくてはならなくなり、3～4回練習をして鈴が峰コースにデビューさせました。父親も駆り出し、父・自分・娘の3世代でのゴルフが実現しました。父親とはもう約20年くらい一緒に回ってなく、このような機会がなければ実現しなかったと思います。まだまだ元気な81歳の父親に孫の初ラウンドをプレゼントできたことは少し親孝行できたかと思えます。

娘にはこれからゴルフを通じて人とのコミュニケーションを磨いていって欲しいものです。

#### 部谷君

広島経済レポート(青)11月2日号に、広島銀行さんが、加入中の保険の保険内容を分析・診断する「(ひろぎん) 生命保険分析サービス」の取扱いを始めた、との記事が掲載されていました。

加入中の保険証券の情報に基づき補償内容が見える化し、補償内容の確認・顧客の家族構成・ライフプラン・加入目的に見合っているか課題と対応方法を案内するそうです。ご出宝よろしくお願ひいたします。

#### 紫友会優秀成績の皆さん

1月13日(土) 広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで、今年度第7回目の紫友会が開催されました。優勝の田中君、シニア優勝と合わせてトリプルをお願いします。準優勝は長谷川(剛)君、3位 梶本君、ブービー賞 西原君、ベスグロ 田原君、出宝をよろしくお願ひいたします。また、グランドシニア優勝の梶川さんが出宝されています。

### スマンボックス

#### 田島君

台南RC訪問団は、追加でオプション日程が

3つ加わっておりましたが、担当理事と旅行代理店との情報交換が十分にできていませんでした。

全員のスケジュール管理をすべき担当理事が、参加者全員のスケジュールを十分に把握していなかった為、参加者の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけしました。ロータリーの寛容の精神でお許しの程、お願ひ申し上げます。

## 年男・年女放談

### 卓話



昭和39年生まれ  
前橋 寛君

昨年7月23日、日曜に会社に空き巣が入りました。会社といっても営業室では無く、倉庫に入ったのですが、月曜の朝、ドアが壊されているのを社員が見つめました。営業室はセキュリティを掛けているのですが倉庫は鍵だけでした。

うちの仕事は店舗の設計と施工、そして陳列台の販売ですから、倉庫の中には陳列台の部材が置いてあるのと、女子社員の更衣室があるだけでした。幸い更衣室のなかに金目のものは置いていなかったもので、社員に被害はなく、会社としてもドアを壊された以外には被害はありませんでした。広島県警からは一般署員に刑事、鑑識8人くらいが来て調べていました。あまりの物々しさに尋ねてみると、同じ日に同様の空き巣が6件あって、同一犯の犯行だろうということで「おーっなんかTVドラマみたいだ」って他人事のように見えました。

事件はすぐには解決せず11月だったか、なぜか福岡県警から連絡あり、大阪で犯人を捕まえたとのことでした。犯人は4月に鹿児島島の刑務所を出所したものの、間もなく所在不明になって各地で空き巣を繰り返していたようでした。ただ、物は盗んでも誰も傷つけていないとのことだったので、それがせめてもの救いだったように思います。



事件のあらまはこんな感じなのですが、私のなかにモヤモヤが残ったことがありました。当時事件の関係者として私の指紋も取られるわけです。数日後に県警からもう一度指紋を取りたいと連絡があり、日を改めて署員が会社にやってきました。聞けば指紋が上手く取れていなかったとのことでした。強く押しすぎたかな、まあそんなこともあるかと大して何も考えていなかったら、署員がなんて言ったと思いますか？「年を取ると指紋の溝が浅くなることもあるんですよ」ってのたまったんです。俺の指は経年劣化で指紋の溝がなくなってきたってことか、古くなったハンコと一緒に？泥棒に入られたことより指紋の劣化を指摘されたことの方がショックでした。

物を持って手から滑り落ちるってことがありますが、それは手の力が弱まったからじゃなくて、指紋がなくなりつつあるってことかもしれません。気になる方はスタンプを使って自分の指紋がちゃんと写るか指紋の劣化具合を確かめてみて下さい。今日は泥棒に入られて、結果自分の年齢を感じるようになったというお話でした。

\*\*\*\*\*



昭和 39 年生まれ  
**大地 洋一郎 君**

1964年（昭和39年）甲辰（きのえ たつ）生まれの大地です。

私は6月6日に山口県岩国市玖珂町に生まれました。ちなみに6月6日は皆さんご存じオカルト映画「オーメン」の主人公ダミアンの誕生日で、中学生の頃のあだ名は勿論「オーメン」です。

話は変わりますが、先週木曜の情報番組でNYタイムズが選ぶ「2024年に行くべき52か所」に北米の皆既日食、フランスのパリに続き3番目が山口市で驚きました。「西の京都」と呼ばれておりますが「京都ほど込み合っていないからでは」と微妙なコメントに納得しました。

地元の高校卒業後、このホテルの開業年に入社、雲海等のレストランを6年、フロントを15年、現在のセールスが20年目で昨年40年が経ちました。今年6月で還暦になり定年を迎えますが、再雇用

の契約社員としてこのホテルのお世話になるか否か、そろそろ決断する時が迫っております。次男は未だ10歳のため妻から「死ぬまで働いて」と言われ続けております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*



昭和 39 年生まれ  
**隅田 高士 君**

今年還暦の年男です。昭和39年12月6日に舟入南で生まれました。3つにポイントを絞って幼少期からを振り返ってみました。

まず1つ目は性格といいますか、性分についてです。これは親から聞いた話ですが、小学3年生の父兄面談の際、先生から「隅田くんは非常に落ち着きがない。いつもどこかで友達にちょっかいを出したり騒いでいる。こんなことではまず事務職は無理でしょう」と言われたとの事です。事務職が良いかどうか別にして、そんなことが今分かるわけではないと、後で聞いた父親は怒ったらしいですが、火の無いところに煙は立たないですから落ち着きがなかったのかもしれない。

2つ目は体質です。やはり小学生のころ、体が弱いわけではなかったのですが蕁麻疹がよく出ていました。体がかゆくて、かゆくてって感じです。アレルギーの治療方法としては乳製品とか卵は控えることと、体質改善とかで週に1回ぶっとくて体が熱くなる血管注射を3か月間受けに行っていた記憶があります。注射の成分は分かりません。

3つ目は体格といいますか体形の話です。同じく小学生や中学生の頃、昭和50年前後ですので食べる物が無かったわけではないと思いますが痩せていました。もちろん骨と皮ではありませんが痩せている方でした。中学ではテニス部、高校1年からはラグビーを始め、大学も含め7年間ほぼラグビー中心の生活でしたが、食べても飲んでも太らない時代でした。ご存じのようにラグビーはウエイトがあった方が有利なことが多いスポーツです。が、残念ながらマックス76キロまでしか増えませんでしたのでチームの平均体重を下げたい

ましたが、今思えば夢のような暴飲暴食ができていた良き時代だったのかもしれない。

小さい頃の我が家は蓋を沈めてはいる五右衛門風呂でしたので、薪割りをしていた記憶や、天満川がどぶ川のように汚染されていた時代によく釣りをしていたこと。冬には手と足の指や耳がしもやけでパンパンになっていたこと。携帯電話が無い時代に友達を3時間待たしたことなど、思い出はたくさんあります。便利に何でもあることが普通で季節感もなくなりつつある現在、あまり便利ではなく自分自身が工夫をしながら楽しめる時代の変わり目を生きてこれたのは良い経験だったと感じています。

これからも去年発症しました坐骨神経痛と共存しながら山あり谷ありだとは思いますが楽しい60代を過ごしていきたいと思っています。

\*\*\*\*\*



昭和 27 年生まれ  
**田島 慎也 君**

1952年9月1日生まれの田島 慎也です。あっという間に高齢者と言われる年齢になりました。

私が3才であった昭和30年の日本人の平均寿命は男性が64才、女性が68才。昨年は男性が81才で女性が87才だそうです。この70年ぐらいで男女とも20歳近く平均寿命が伸びたようですが、近年は伸び率が鈍化しているそうです。また、平均余命は現在72才の男性で14.5才だそうです。

現在71才の私には何故か5才の男の子と4才の女の子がいますが、平均余命14.5才では子供たちが20才になる前にこの世から去ることになります。それは少し困ったなと思っていますが、好きなお酒の量は一向に減らず、休肝日もつくらず、毎晩、沢山お酒を飲んでいる生活習慣は全く改善される傾向がありません。全く困ったものです。

私には恩師が二人います。

一人は経営学ゼミの教授で、怠け者の私に経営学の基礎知識を教えていただきました。もう一人の恩師は、会社に入ってから取引先であった松下電器産業、現在のパナソニックのある事業部の事

業部次長されていた方で、物づくりの基礎を教えてくださいました。

入社以来、鍋部門の次は外注管理部門長、品質保証部門長、生産本部長、全社活動担当、営業部門担当、海外事業担当と色々と経験させていただきました。お二人の恩師の教えと怠けものの私を支えてくれた優秀な部下のおかげで、各部門ではそれなりに成果を上げることができたと思っています。

また私はとても人の影響を受けやすい性格だと思っています。幼稚園、小学校、中学、高校、大学院、青年会議所で多くの友人との出会いがあり、色々と影響を受けながら今の自分があると思っています。総じて良い影響だと思っていますが、知らないうちに悪い影響も受けてきていると思います。これからは、西RCの皆さんから良い影響を受けながら、あとなんとか20年間は元気に、ボケないように生きていきたいと思っています。

\*\*\*\*\*



昭和 27 年生まれ  
**田川 昭夫 君**

わたしは1952年生まれ、今年で6回目の年男を迎えました。とりあえず過去を遡って思い出してみる事にしました。

まず1回目は、12才小学6年生の時ですが、昭和39年は何といても東京オリンピックです。16個の金メダルを取った日本選手団にあこがれて、年下のいとこたちを集めて自分が金メダルばかり取るオリンピックごっこをしていました。例えば竹の棒の両側にブリキのバケツを括り付け、バケツの中にストーブ用の石炭を入れて重量上げをしたのを覚えています。

2回目は、24才昭和51年ですが、大学時代に結成し2年間プロ活動していたフォークバンドを解散したのち、夏に大学仲間と与論島に船旅に出かけました。途中台風に遭遇し、台風が行き過ぎるまで奄美大島のホテルに缶詰めとなり、そんなドタバタの中で知り合ったのが妻で、翌年、まだ学生だった妻と結婚し47年目を迎えています。

3回目は、36才昭和63年は、いわゆるバブル景気の最盛期、一つの不動産が同じ日に2回、3回と転売され、どんどん価格が吊り上がっていく不思議な時代の登記手続を何件も経験させていただきました。

4回目の48才平成12年は、コンピューターの2000年問題を思い出します。これは、古いコンピューターの西暦データが下2桁で処理されていたことから生じるトラブル、及び西暦年数で4で割れる年は閏年ですが、このうち100で割れる年は平年、しかし400で割れる年は閏年となるとのグレゴリオ暦の規則が、一部のコンピューターに組み込まれていなかったことから生じるトラブルという事でしたが、幸いにも大きなトラブルは無かったと記憶しています。

還暦を迎えた前回の平成24年は、日本司法書士会連合会の役員として、1年の3分の1は東京で過ごす状況でした。この年の前後数年間はそのため広島東京間を飛行機で年間50往復もしていました。おかげでマイルは沢山たまりました。しょっちゅう飛行機に搭乗していると離陸前に必ず上映される非常用設備案内のVTRを、邪魔くさいなと思っていましたが、1月2日のJAL機の事故を見て大切な事だったとあらためて痛感し、JAL機の搭乗員と乗客の皆さんの連携と勇気に感動しています。

そして今年令和6年は、元旦から予期せぬことばかり起きています。能登地方の大地震、羽田のJAL機の事故、箱根駅伝は1強と言われた駒大を青学が破り、我が家では、妻が鎖骨を骨折、この先まだ予期せぬことが続くのでしょうか。

今年こそは新井カーブが6年ぶりの優勝を勝ち取ることを願って年男放談を終わります。

\*\*\*\*\*



昭和39年生まれ  
**吉田 大蔵君**

昭和39年（1964年）11月18日に広島市で誕生し、中区河原町に祖父母と両親と姉と高校生まで過ごしました。江波中学、山陽高校ではバレーボールで汗を流し、一浪の末駒澤大学に合格し、夢見

た東京世田谷区での憧れの一人暮らしの大学生活が始まります。

大学卒業時はバブル絶頂期でもありました。父が勤める1社目の面接で合格します。のちに父から「ニッポーの日吉さんに頼んだ」と聞かされました。そのころから広島西RCにはお世話になっていたようです。経営コンサルタント業の「タナベ経営」という会社で中小企業の経営ドクターと言われ相談あれば「365日24時間」いつでもどうぞというくらい忙しい会社でした。ある日、途中入社で私の斜め前の席にきた那覇出身の女性と恋に落ちて27才同士で結婚。30才で父に誘われるまま広島に帰って菱光産業に入社しました。今思うと父の引いた線路に上手く乗せられていたのではと思います。

最後に今後について大きく3点を考えています。

① 昨年の9月に26歳の長男が結婚したのを機に、私が父に教わってきた吉田家のことと、菱光産業のことを次の代に徐々に託したいと計画中です。あと残っている30歳の長女は弟の結婚に感化されてか、現在妻の結婚相談所を利用して婚活中です。

② 長年ほったらかしにしてきた妻とも遊びに出かけたいと思います。フルタイム一緒だとケンカになるので、ポイントは旅先へそれぞれ現地集合や個別行動が出来るように、切符の手配や変更はアプリを活用して各自で行っています。また荷物はなるべく事前に目的地に送るようにして、2人とも手ぶらでの移動を心がけています。おかげで最近夫婦ゲンカになりません。

③ 今後のために一人で出来る趣味と家事をやりたいと思います。母を先に亡くした父を見ていると料理は必須です。現在はまず第1歩として、冷凍食品をお皿に盛りつけるところから始めました。家事はすでに、自動掃除機のルンバも活躍していますが、今後はデジタル家電の進化でレシピを教えてくれる冷蔵庫や、乾燥とたたみまでしてくれる洗濯機が発売されるのを楽しみにしています。もちろん週一のゴルフと流川ウォーキングは今後も継続し、適度な運動と若い女性との会話は楽しんでまいります。

次の72歳での年男放談にはどう変わっているか楽しみです。





例会日・木曜日 12:30~13:30  
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
会長 諏訪 昭浩  
幹事 吉田 大蔵

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp  
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

